

## 事業実績書

事業名	沼津の地域資源の情報発信と、魅力あるガイド活動の創造	
場所	沼津市内 各所	
期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月15日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>地域情報の発信</p> <p>①地域情報を発信する帽子（魚マーク入り）、ユニホームの製作 新しい帽子、ユニホーム着用して、びゅうお。御用邸でガイド実施 ●魚のマーク入りの帽子で、沼津の特産である魚のPRしていきたい。</p> <p>②自主企画イベント開催地の長を表現するカンバッチの製作 桜の香貫山、夏休み早朝セリ見学、県民の日 千本浜夕暮れウォーク 日吉廃寺、車返しを訪ねる、紅葉の香貫山、駿河湾海戦の地を訪ねる 富士山の日 門池を歩く、 ●カンバッチ着用で、イベント参加者の識別と安全管理が向上できた。 参加者に、特長あるカンバッチで、案内地への認識が高まった</p> <p>③御用邸ガイドブックの製作（日本語版） ●御用邸来場者向けに、日本語版ガイドブックの製作。（300部） ガイドの立場で作ったガイド本であり、良く解ると、非常に喜ばれる</p> <p>見える形での情報発信</p> <p>①タブレットの活用（タブレット 2台導入） 魚市場のセリ等の様子 びゅうおの水門の動きの様子 夏の富士山、冬の富士山の様子 御用邸、千本浜公園、街中 ●学童の昼の時間のセリ見学時タブレットでセリの様子を動画等で見せることで ガイドの情報発信力が格段に高まった。</p> <p>●びゅうおでの一般客へのガイド時、夏、雪の富士山、水門の締切の動き 御用邸、千本浜、長浜城等の他の場所の案内することで、非常に喜ばれた</p> <p>魅力あるガイド活動の創造</p> <p>①自主企画イベント ウォーク主体から、座学（知る）＋ウォークのイベント開催（3企画で実施） 日吉神社（宮司さんの話）＋日吉廃寺跡（ガイドによる詳細な説明） 駿河湾海戦の地を訪ねる（座学）北条武田の関係＋長浜城＋千本浜＋三枚橋城 門池ウォーク（座学）富士山の生い立ち＋牧堰＋鮎壺の滝 ●座学で事前学習その後で、ウォークで歩くと、その地域の事が良く理解できた 新規案内場所の開拓 沼津病院跡、沼津小学校跡 間宮喜十郎碑 沼津機関区 蛇松線（蛇松緑道） ●明治150年にちなんだ、沼津を案内する企画を開拓</p> <p>②イベント参加費の有料化の試行 1企画のみ参加費有料にて開催できた（駿河湾海戦の地をめぐる） 参加費有料化は、次年度以降への課題である（イベント内容のレベルUP）</p> <p>③勉強会の継続開催 毎月の定例会時に、ベテランガイドが“私のガイド力”としてガイド法、気を付けている事を発表、全体のレベル向上につなげている。</p> <p>④先進的ガイド活動地域へのガイド活動の研修 静岡 駿府城公園 タブレット活用法（画像の内容、管理の仕方）の視察 大磯 吉田茂邸 依頼ガイドの依頼受付対応法、有料ガイドへの対応法 御殿場 十里木氷結 ガイド法、ガイドの会運営法 具体的活動状況は、別添資料“活動状況表、活動状況写真を添付します。</p>	

<p>事業効果</p>	<p>地域情報の発信</p> <p>①びゅうお、魚市場で、魚マーク入りの帽子をかぶってガイドした時に、帽子の魚のマークに強く興味をもつお客様が多く、沼津港＝魚への関心の高いことを感じた。沼津港に来るお客様には、魚。干物のイメージが強く有り、沼津の魚。干物の認識度向上に、魚のマーク入りの帽子が活躍した。また、帽子、ユニホーム着用で、観光ボランティアガイドのイメージ定着によりつながったと思う。</p> <p>②御用邸の日本語版ガイドブックは、ガイドの立場で作ったガイド本として、御用邸の事が解り易いと、好評であった。昨年度作った英語版とともに、活用したい。</p> <p>見える形での情報発信</p> <p>①タブレットの活用</p> <p>昼間（セリ時間外）の学童向け魚市場セリ見学において、タブレットで、セリの様子を画像で見せることが、セリの様子が良く解ると、予想以上の効果があった。びゅうおで、一般観光客向けに、富士山の写真（富士山の見えない時）、水門の昇降の様子を、タブレットで見せることが、予想以上に喜ばれた。富士山を見ることがびゅうおへのお客様の目的の大きな一つであることを感じました。</p> <p>魅力あるガイド活動の創造</p> <p>①自主企画イベント</p> <p>案内しながら歩く企画から、座学（知る、学ぶ）＋ウォーク（現地で見る）企画へイベント内容の充実する取組を行なう。今までより、ウォークで案内する地域について、事前学習しながら、現地を見ることで、理解がより深まると、参加者より、好評であった。また案内するガイドも、今まで以上に事前学習等を行なうようになり、ガイドレベル向上に繋げることができた。</p> <p>②先進的ガイド地域へのガイド活動の研修</p> <p>タブレットの活用方法（どんな画像を取り入れるか、管理の仕方）、依頼ガイドの受付、依頼先との対応法、ガイドの有料化について、他地区のガイドより学ぶことができた。そのノウハウが、タブレット活用の参考にすることができた。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>タブレットを使用してのガイドを、一層充実したい。</p> <p>今年度は、2台でテストとして運用をはじめたが、提供する画像はどんなものがよいか。タブレットの運用メンテナンス（充電、保管法等）について課題が多くある現状です。現在の2台を使いながら、ガイドに活用できる様、模索していきたい。</p> <p>沼津市の観光推進への取り組みと、2020年オリンピック開催で、沼津にくる観光客は、確実に増加することが予想されます。ガイド体制の充実（ガイド内容、ガイド人員の増加）に取り組んでいきたい。</p> <p>今まで以上に、沼津市民に、沼津のことを知ってもらい、沼津の良いところを知ってもらい取組を行なっていきたい。現在会として自主企画イベントとして、香貫山、千本浜公園、御用邸、沼津街中のウォークを行なっているが、企画内容をより魅力あるものに充実し、より多くの市民に参加してもらえるように企画していきたい。</p>
<p>自己評価</p>	<p>ファンド活用で、新しい取組として ①情報発信する帽子、ユニホームの製作 ②タブレット導入等を行なった。これらを進めるときに、会員全体で、会の今後のあり方についてとか、どんなガイドがいいか等、考えることができた。会創立17年になり、会活動について、これから5年、10年先を考えるのに、ファンドでの取組をきっかけに、全員で、これから先のことを考え、取組できたことはよかったですと考えます。</p>